85464359777003

試運転担当のかたへ

（ＨＦＣ系冷媒Ｒ４１０Ａ用）

室外	スーパーエスパシオⅡ エスパシオ
室内ユニット	換気ｍｏぐっぴー

表面

スーパーエスパシオ２２４，２８０形およびエコミニぐっぴー定速機、ＷＯＲＬＤ　ＳＴＡＧＥと組み合わせる場合は、室外ユニットに添付されている、試運転担当のかたへも合わせて参照してください。

室内・室外ユニットには他に「据付工事担当のかたへ」「電気工事担当のかたへ」の説明書が添付してあります。必ず参照してください。

集中制御機器を使用する場合には、リンク配線が必要になります。 裏面参照

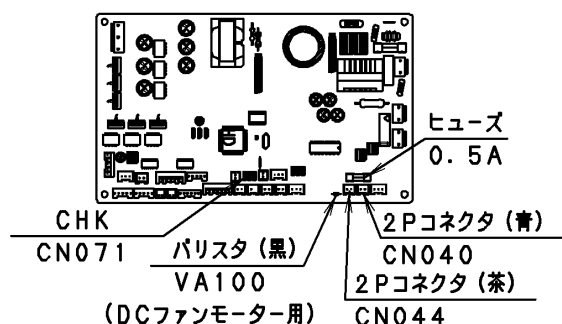
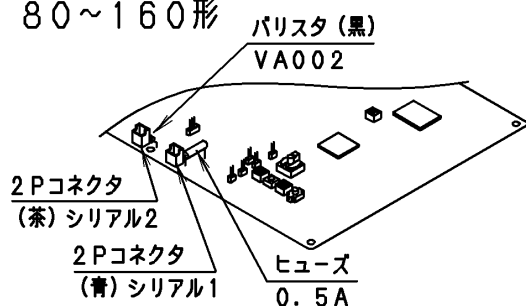
１．注　意

- このユニットは、１冷媒系統に室外ユニット１台・室内ユニット１台のシングルタイプの他に、室外ユニット１台に室内ユニットを複数台（最多２台まで）接続して使用することができます。

※室内ユニットを複数台使用する場合は、＜項目６＞″システムコントロールする場合″も合わせて参照してください。

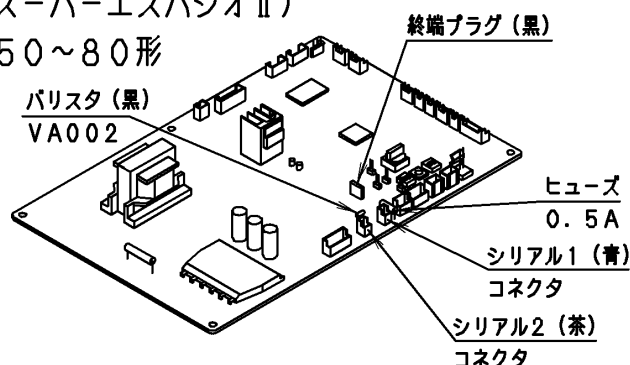
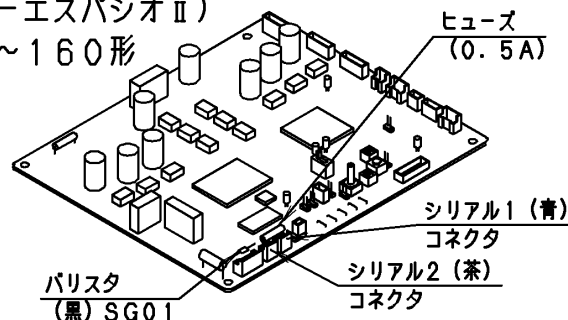
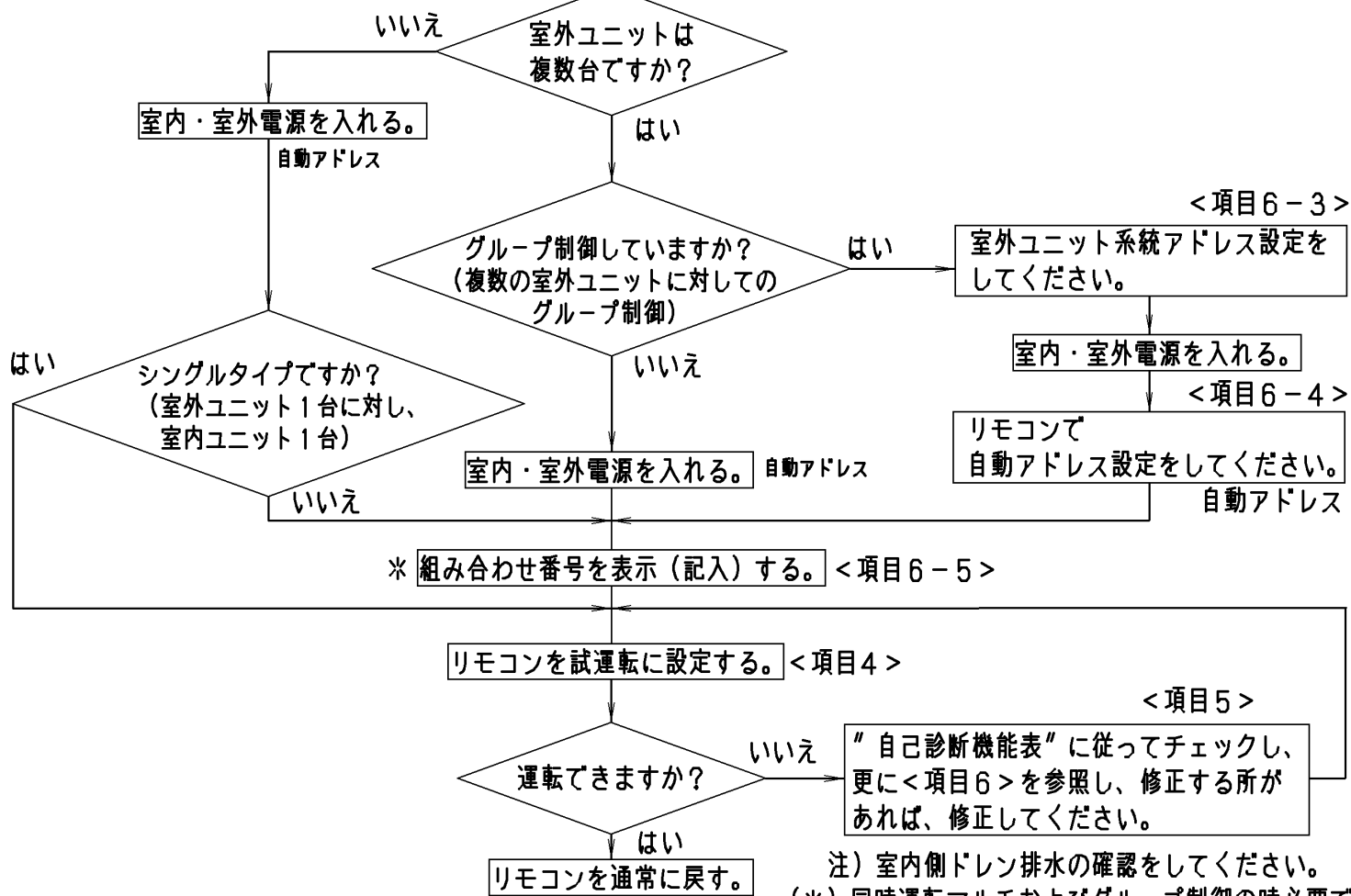
- 室内・室外ユニットのコントロール基板には、半導体記憶素子（不揮発性メモリ）を使用しております。工場出荷時は、運転に必要な設定がされております。適正な室内・室外ユニット組み合わせ以外でのご使用はできません。
- この試運転説明書は、ワイヤードリモコンを基本に記載していますので、ワイヤレスリモコンについては、ワイヤレスリモコンに添付されている説明書を参照ください。
- 試運転はお客様に立ち会いをお願いして行なってください。そして″取扱説明書″を説明した上で、実際に操作していただいてください。
- 「説明書」「保証書」は必ずお客様にお渡ししてください。
- 室内外操作線接続用端子にＡＣ２００Ｖの配線接続をしていないか確認してください。

  ※誤ってＡＣ２００Ｖを印加した場合は室内・室外コントロール基板のヒューズ（室内・室外共、０．５Ａ）を溶断して基板を保護するようにしています。配線接続を修正した後、基板に接続されている、２Ｐコネクタ（室内、青）（室外、青、シリアル１）を外して、２Ｐコネクタ（室内、茶）（室外、茶、シリアル２）にそれぞれ差し換えてください。

  茶コネクタに差し換えても運転できない場合には、バリスタ（黒）（室内・室外共）をカットしてください。

  （作業は必ず電源をＯＦＦにしてから行ってください。）

室内コントロール基板

室外コントロール基板

（エスパシオ）
８０～１６０形

室外コントロール基板

（スーパーエスパシオⅡ）
５０～８０形

2. 試運転

3. 試運転前の確認項目

1　手元電源スイッチはクランクケースヒーターへの通電のため12時間以上前に入れてください。

2　配管および電気配線が正しく接続されていることを確認の上、ガス管・液管側の閉鎖弁を全開にしてください。

4. リモコン試運転設定

1　リモコンの 点検 ボタンを4秒以上押してから、運転／停止 ボタンを押してください。

- 試運転中は液晶表示部に「試運転」と表示されます。
- 「試運転」モードでは、温度調節はできません　。
  （機器に無理がかかりますので試運転時以外は使用しないでください。）

2　「試運転」は暖房、冷房のいずれかの運転モードでご使用ください。
　（注）電源投入後、および運転停止後は約3分間は室外ユニットは運転しません。

3　正常に運転できない場合には、リモコン液晶表示部に記号表示されます。
　下記＜項目5＞″自己診断機能表″を参照して修正してください。

4　試運転終了後は再度 点検 ボタンを押して液晶表示部の「試運転」消灯を確認してください。
　（このリモコンは連続試運転を防止するために、60分タイマー試運転解除機能付となっています。）

5　インバーター室外ユニットの試運転は、圧縮機の運転を10分以上行ってください。（欠相確認のため）

※ワイヤードリモコンの「試運転」は、カセット形の天井パネルを取り付けなくても運転可能です。
（″P09″表示は出ません。）

5. 自己診断機能表と処理方法

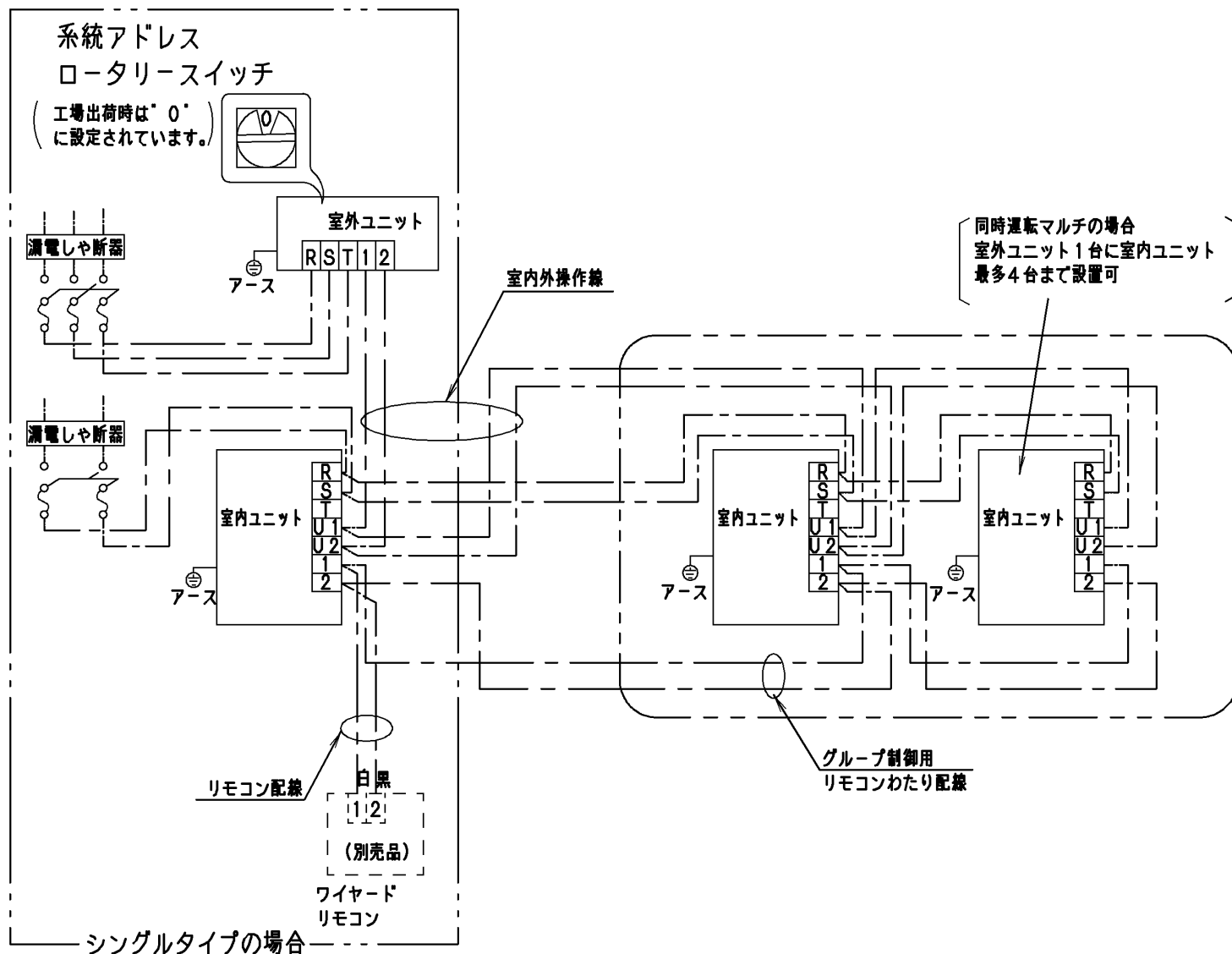
ワイヤード リモコン表示	ワイヤレス リモコン表示	原因 1：1接続の場合 （シングルタイプ）	グループ制御の場合	同時運転マルチの場合 （フレキシブルコンビネーション）	親・子リモコン 制御の場合	処置方法
全く表示 されない	全く表示 されない	● リモコンが正しく接続されていない。 ● 室内ユニットの電源が入っていない。	● 室内ユニットにリモコンが正しく接続されていない。 ● 室内ユニットの電源が入っていない。	● 左と同じ。	● 左と同じ。	● 正しく接続してください。 ● 室内ユニットの電源を入れてください。
"E01"表示	運転ランプ点滅	● 自動アドレスが終了していない。 ● 室内外操作線の断線・接続不良。 ● リモコンが正しく接続されていない。 （リモコン受信不良）	● 自動アドレスが終了していない。 ● 室内外操作線の断線・接続不良。 ● 室内ユニットにリモコンが正しく接続されていない。	● 左と同じ。	● 左と同じ。	● リモコンおよび室内外操作線の配線を確認してください。 ● 自動アドレスを行ってください。<項目6>
"E02"表示	運転ランプ点滅	● リモコンが正しく接続されていない。 （リモコンから室内ユニットへの送信不良）	● 室内ユニットにリモコンが正しく接続されていない。	● 左と同じ。	● 左と同じ。	● 正しく接続してください。
"E09"表示	運転ランプ点滅	――――	――――	――――	● 親リモコンが2台設定されている。	● <項目6>"システムコントロールする場合"を参照して正しく設定してください。
"E14"表示	運転ランプ点滅	――――	――――	● リモコンわたり配線の断線・接続不良。	● 左と同じ。	● リモコンわたり配線を確認してください。 ● 再度自動アドレス設定を行ってください。
"E04"表示	準備中ランプ点滅	● 室内外操作線の接続不良。	● 左と同じ。	● 左と同じ。	● 左と同じ。	● 正しく接続してください。
"E06"表示	準備中ランプ点滅	――――	● 室内外操作線の断線、接続不良。	● 左と同じ。	● 左と同じ。	● <項目6>"システムコントロールする場合"を参照して正しく設定してください。
"E15"表示	準備中ランプ点滅	● 室内ユニット容量が少ない。	● 左と同じ。	● 左と同じ。	● 左と同じ。	● 室内・室外ユニット総合容量を適切な能力であることを確認してください。
"E16"表示	準備中ランプ点滅	● 室内ユニット容量が多い。				
"E20"表示	準備中ランプ点滅	● 室内ユニットからのシリアル信号を全く受信できない。				● 室内ユニットに電源が入っているか、室内外操作線は正しく接続されているか確認してください。
"P05"表示	運転ランプ・準備中ランプ交互点滅	● 室外ユニットの三相電源が、逆相または欠相。 ● ガス欠。	● グループいずれかの室外ユニットの三相電源が、逆相または欠相。	● 室外ユニットの三相電源が、逆相または欠相。	● 左と同じ。	● 室外ユニットの三相電源の二相を入れ換えて正しく接続してください。
"L02" "L13"表示	運転ランプ・準備中ランプ同時点滅	● 室内・室外ユニット機種の不一致。	● 左と同じ。	● 左と同じ。	――――	● 室内・室外ユニットの機種が合っていることを確認してください。
"L07"表示	運転ランプ・準備中ランプ同時点滅	――――	――――	● 室内ユニットにリモコンわたり配線接続されているが、個別設定になっている。	● 左と同じ。	● 自動アドレス設定を行ってください。 <項目6>
"P09"表示	タイマーランプ・準備中ランプ交互点滅	● 室内ユニットの天井パネルのコネクタが正しく接続されていない。	● グループいずれかの室内ユニットの天井パネルのコネクタが正しく接続されてない。	● 室内ユニットの天井パネルのコネクタが正しく接続されていない。	● 左と同じ。	● 室内ユニットの天井パネル、コネクタを正しく接続してください。
"P12"表示	タイマーランプ・準備中ランプ交互点滅	● 室内ユニットのDC送風機異常。	● グループいずれかの室内ユニットのDC送風機異常。	● 室内ユニットのDC送風機異常。	● 左と同じ。	● ファン押さえがはずしてあるか確認してください。 ● DC送風機と基板間の配線を確認してください。

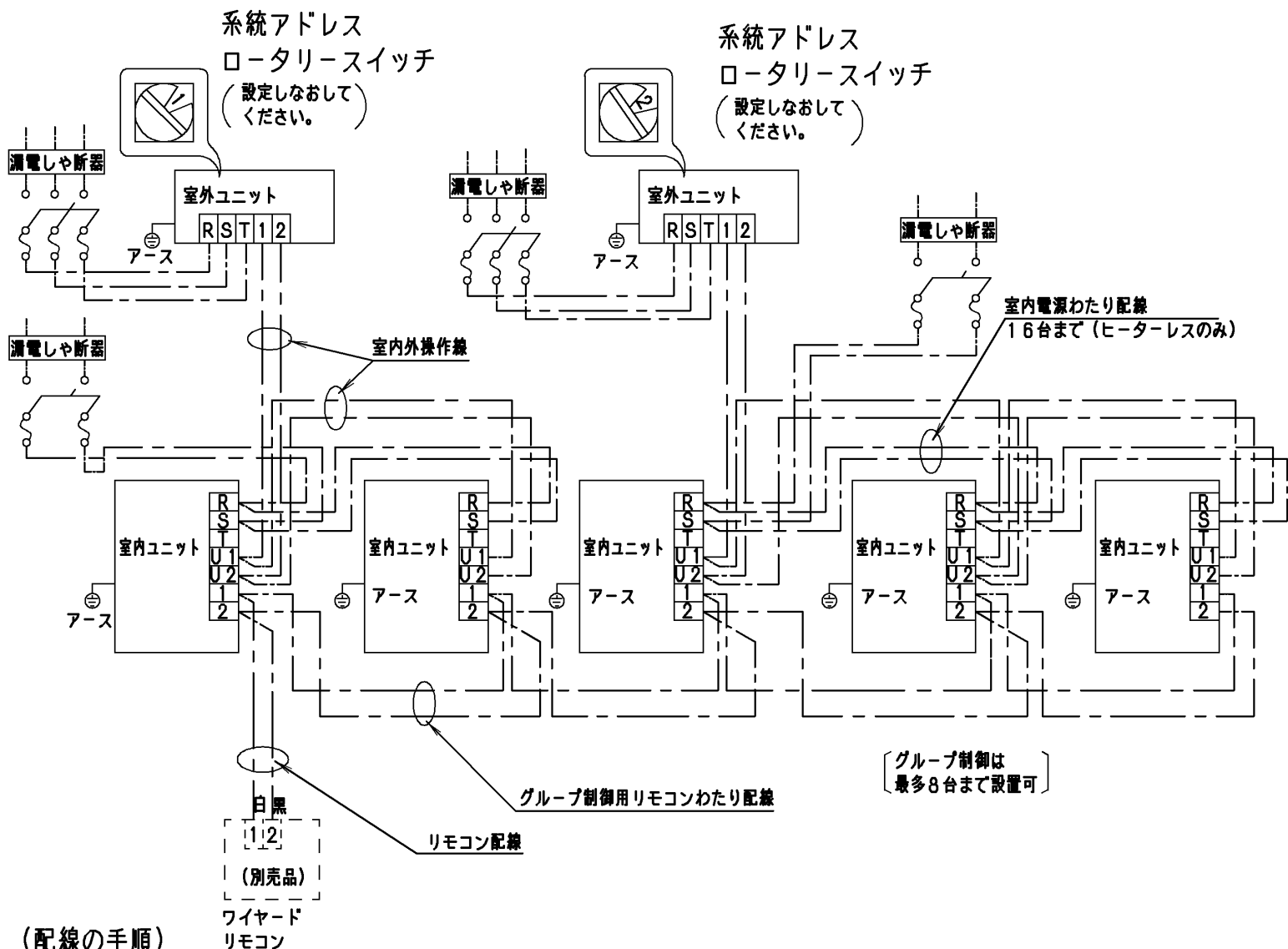
● 上記処置をしても正常に運転しない場合、または上記リモコン表示以外の表示がでる場合には、別冊"サービス技術資料"を参照してください。

6. システムコントロールする場合

システムコントロールとは、同時運転マルチ、グループ制御、親・子リモコン制御、リンク配線接続し、制御する場合です。
シングルタイプは＜項目6－1＞を参照してください。

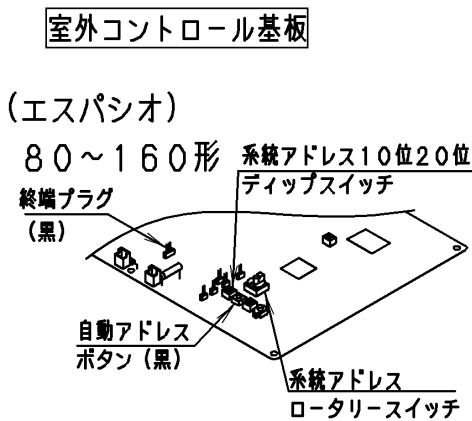
6－1 基本配線図1　シングルタイプおよび同時運転マルチの場合。

- 同時運転マルチ、
  1台の室外ユニットに、最多2台の室内ユニットを接続して運転が可能です。
  （ただし、室外ユニットの容量と室内ユニットの総合容量は合わせてください。）
  （個別にリモコンを接続しての単独運転はできません。）
- 配線は誤配線のないように接続してください。（誤配線するとこわれます。）

６－２ 基本配線図２ グループ制御の場合。（集中制御機器を使用しない場合）

●１個のリモコンで、室内ユニット最多８台まで接続可能です。
（冷媒系統が室外ユニット１台に対し室内ユニット２台および、室外ユニット１台に対し室内ユニット３台の場合）、手元電源スイッチを入れる前に、系統アドレス（冷媒配管系統アドレス）の設定をしてください。（<項目６－３>″室外ユニット系統アドレスの設定方法″参照）
（室外コントロール基板、系統アドレスロータリースイッチで設定してください。）

（配線の手順）

１．リモコンを室内ユニットのリモコン配線用端子板（１．２）に接続してください。（リモコン配線）
２．室内ユニット（Ｕ１．Ｕ２）と室外ユニット（１．２）を接続してください。他の室外ユニットと室内ユニット（冷媒系統が異なる）も同様に行ってください。（室内外操作線）
冷媒系統毎の室内ユニットの（Ｕ１．Ｕ２）間のわたり配線をそれぞれ接続してください。（室内外操作線）
３．室内ユニット（リモコンを接続したユニット）リモコン配線用端子板（１．２）から、他の室内ユニットのリモコン配線用端子板（１．２）にリモコンわたり配線（２線）をそれぞれ接続してください。
（リモコンわたり配線）
４．自動アドレスの設定は、室内・室外共電源を入れ、リモコンで設定してください。
（<項目６－４>″自動アドレス設定方法″参照）

注）
※補助ヒーター機種は室内ユニット電源線の″わたり配線″方式はできません。（プルボックスで分岐してください。）
この制御を行なうときは、必ず室内ユニット室温センサー（ボディセンサー）で使用してください。（工場出荷状態）

6－3 室外ユニット系統アドレスの設定方法　基本配線図２の場合（系統アドレス１、２、３・・・と設定してください。）

自動アドレス　ボタン（黒）
集中制御（リンク）時使用します。
（通常は使用しません。）
※開始後、再び押すと中止されます。

系統アドレス番号	系統アドレス　１０の位 （２Pディップスイッチ） １０位２０位	系統アドレス　１の位 （ロータリースイッチ）
０　自動アドレス （出荷時設定"０"）	両方共OFF	設定０
１（室外ユニットが１号機の場合）	両方共OFF	設定１
２（室外ユニットが２号機の場合） ：	両方共OFF ：	設定２ ：
１１（室外ユニットが１１号機の場合） ：	１０位が ON	設定１ ：
２１（室外ユニットが２１号機の場合） ：	２０位が ON	設定１ ：
３０（室外ユニットが３０号機の場合）	１０位と２０位が ON	設定０

6－4 リモコンからの自動アドレス設定方法　基本配線図２の室外ユニットが複数台でグループ制御の場合

自動アドレスは、リモコンで設定してください。（自動アドレス中は、リモコンに 設定中 と点滅表示します。）

●リモコンの時間 ▲ ボタン＋ 点検 を同時に押してください。（４秒以上）
その後 セット ボタンを押します。（項目コード"ＡＡ"表示：全体自動アドレス）
（室外ユニットを１号機から３０号機まで自動で順次自動アドレスを行い終了し、通常の停止状態にもどります。）

●１冷媒系統毎に個別選択して、自動アドレスを行ないたい場合は、リモコンの時間 ▲ ボタン＋ 点検 を同時に押し（４秒以上）、設定温度 ▲/▼ ボタンどちらかを押してください。
（項目コード"Ａ１"表示：系統別自動アドレス）
自動アドレスしたい室外ユニットを ユニット選択 ボタンで選び（"系統１"表示）セット ボタンを押します。
（１冷媒系統の自動アドレスを行ないます。）系統１の自動アドレスが終ると通常の停止に戻ります。

再度、リモコンの時間 ▲ ボタン＋ 点検 を同時に押し、前と同じように
（ユニット選択 ボタンで"系統２"表示）指定し、順次行ないます。

6－5 室内・室外ユニットの組み合わせ番号を表示（記入）のお願い

自動アドレス完了後表示（記入）してください。

1．複数台設置される場合、個々の室内・室外ユニットの組み合わせが確認しやすいよう、油性マジック等の消えにくいもので、室内・室外ユニットの対応番号を室外コントロール基板の系統アドレス番号と対応させ、室内ユニットの確認しやすい場所（室内ユニットのネームプレート近傍）に表示してください。

（例） （室外）1－（室内）1、2・・・ （室外）2－（室内）1、2・・・

2．メンテナンス時に必要となります。必ず表示するようにしてください。

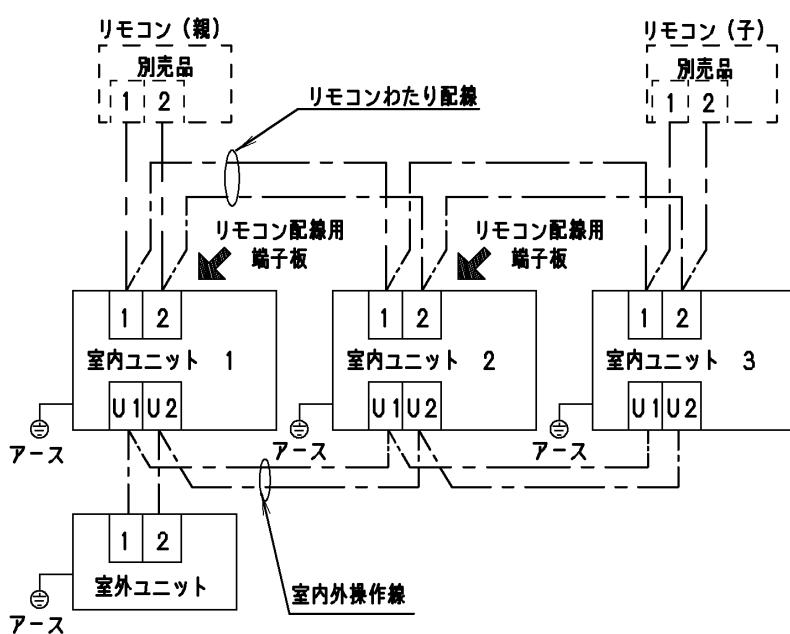
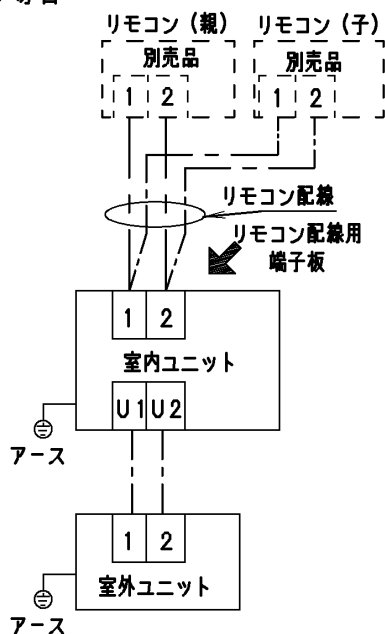
※リモコンで室内ユニットのアドレスを確認してください。点検 ボタン＋換気 ボタンを４秒以上押し（簡単設定モード）ユニット選択 ボタンで室内アドレスを指定します。（ボタンを押すごとに１－１、１－２・・・２－１、２－２・・・と変更します。）選択された室内ユニットのみ、室内ファンが運転しますので、確認し、室内ユニットのアドレス表示をしてください。
再度、点検 ボタンを押すと通常のリモコンモードに戻ります。
詳細については、別冊ハンドブック等を参照してください。

6－6 親・子リモコン制御 ２個のリモコンで制御する場合。

この親・子リモコン制御は、１台もしくは複数台の室内ユニットを２個のリモコンで操作するものです。（最多２個まで接続可能です）

- 室内ユニット１台を、リモコン２個接続して操作する場合

- 同時運転マルチをリモコン２個接続して操作する場合

リモコン（親） 別売品 1 2
リモコン（子） 別売品 1 2
リモコンわたり配線
リモコン配線用 端子板
室内ユニット 1
室内ユニット 2
室内ユニット 3
U1 U2
アース
室外ユニット
室内外操作線

（E形リモコンの設定方法）

1．リモコンを２個接続した中の１個は親リモコンとしてください。

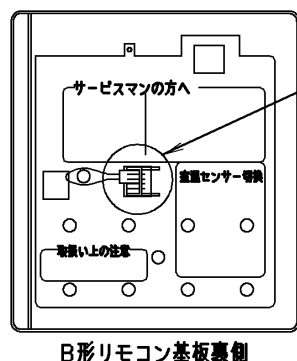
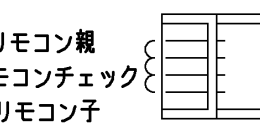
2．その他のリモコン（子リモコン）は、セット＋運転切換ボタンを４秒以上押します。

3．温度設定 ▼ ／ ▲ ボタンで項目コード０１を指定します。

4．時間 ▼ ／ ▲ ボタンで設定データを０００１（親）から００００（子）に変更します。

5．セットボタンを押します。（表示が点滅から点灯に変わればＯＫ）

6．点検ボタンを押します。

子リモコンは、室内ユニット２、３に接続しても動作します。

B形リモコン基板裏側

（B形リモコンの設定方法）

1．リモコンを２個接続した中の１個は親リモコンとしてください。

2．その他のリモコン（子リモコン）は、リモコン基板裏のリモコンアドレスコネクタをリモコン親→子にさしかえてください。この状態で子リモコンとして機能します。

子リモコンは、室内ユニット２、３に接続しても動作します。

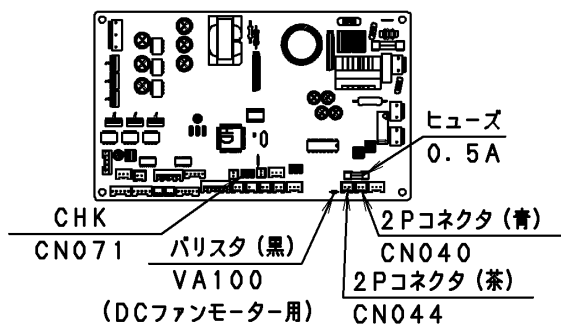
裏面につづく

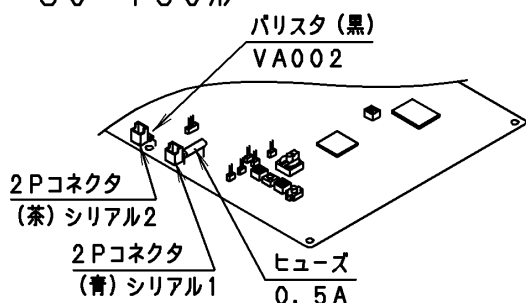
試運転担当のかたへ （リンク配線の場合）

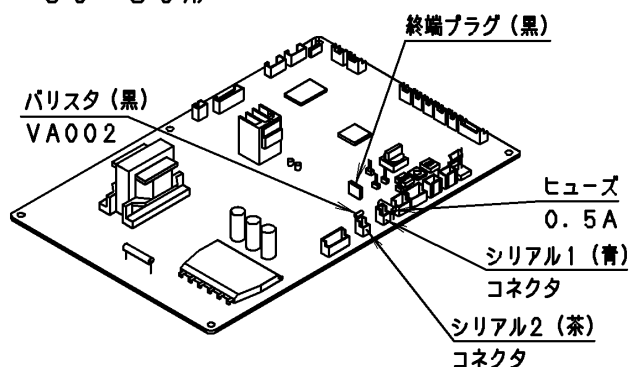
本説明書は、リンク配線の場合のみの説明書ですので、別紙「電気工事」「据付工事」
担当のかたへも、必ず参照してください。

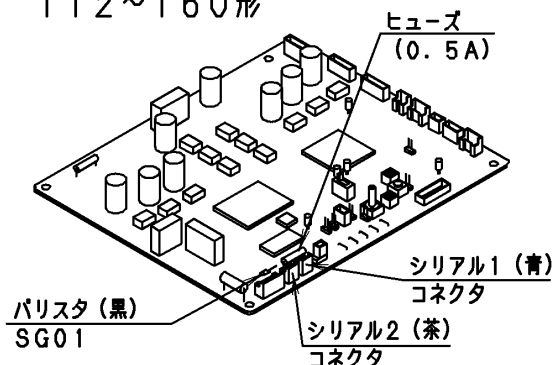
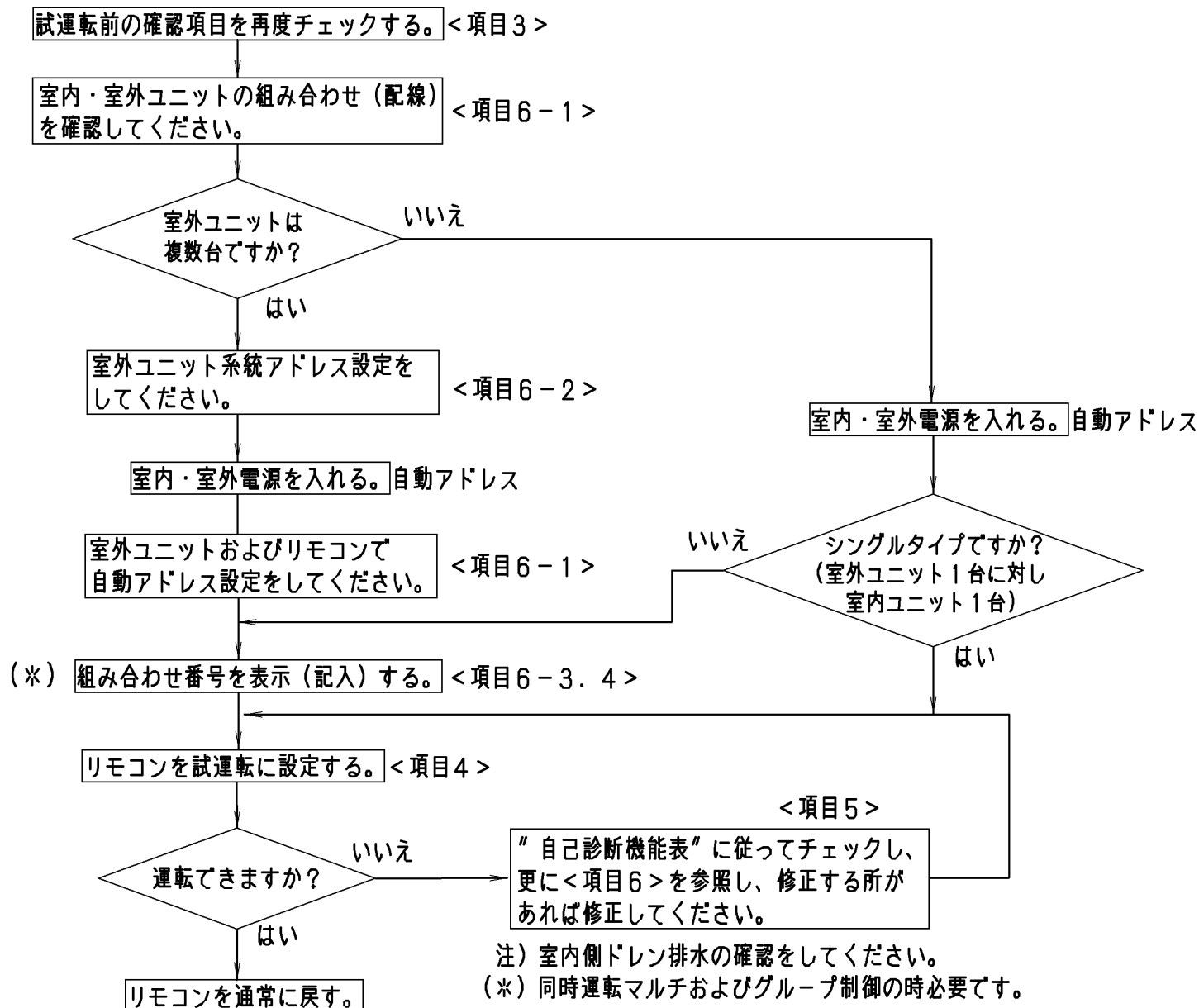
1. 注　意

このユニットは、１冷媒系統に室外ユニット１台・室内ユニット１台のシングルタイプの他に、室外ユニット
１台に室内ユニットを複数台（最多２台）接続して使用することができます。

- この試運転説明書は、ワイヤードリモコンを基本に記載していますので、ワイヤレスリモコンについては、ワイヤレスリモコンに添付されている説明書を参照ください。
- リンク配線する場合には、室内・室外の組み合わせを識別できるよう室外ユニット系統アドレスを設定すると同時に、組み合わせが確認しやすい場所（室内ユニットのネームプレート近傍）に室内・室外組み合わせ番号を表示してください。（後日、メンテナンスに必要となります。<項目６－２．３．４>参照）
- 試運転はお客様に立ち会いをお願いして行なってください。そして"取扱説明書"を説明した上で、実際に操作していただいてください。
- 「説明書」「保証書」は必ずお客様にお渡ししてください。
- 室内外操作線接続用端子板にＡＣ２００Ｖの配線接続をしていないか確認してください。
  誤ってＡＣ２００Ｖを印加した場合は室内・室外コントロール基板のヒューズ（室内・室外共、０．５Ａ）を溶断して基板を保護するようにしています。配線接続を修正した後、基板に接続されている、２Ｐコネクタ（室内、青、ＯＣ）（室外、青、シリアル１）を外して、２Ｐコネクタ（室内、茶、ＥＭＧ）（室外、茶、シリアル２）にそれぞれ差し換えてください。（下図参照）
  茶コネクタに差し換えても運転できない場合には、バリスタ（黒）（室内・室外共）をカットしてください。
  （作業は必ず電源をＯＦＦにしてから行ってください。）

室内コントロール基板

室外コントロール基板

（エスパシオ）
８０～１６０形

室外コントロール基板

（スーパーエスパシオⅡ）
５０～８０形

（スーパーエスパシオⅡ）
１１２～１６０形

２．試運転手順

３．試運転前の確認項目

1　手元電源スイッチはクランクケースヒーターへの通電のため１２時間以上前に入れてください。

2　ガス管・液管側の閉鎖弁を全開にしてください。

４．リモコン試運転設定

1　リモコンの 点検 ボタンを４秒以上押してから、運転／停止 ボタンを押してください。

- 試運転中は液晶表示部に「試運転」と表示されます。
- 「試運転」モードでは温度調節はできません。
  （機器に無理がかかりますので試運転時以外は使用しないでください。）

2　「試運転」は暖房、冷房のいずれかの運転モードでご使用ください。
　（注）電源投入後、および運転停止後は約３分間は室外ユニットは運転しません。

３　正常に運転できない場合には、リモコン液晶表示部に記号表示されます。
　右記＜項目５＞の"自己診断機能表"を参照して修正してください。

４　試運転終了後は再度 点検 ボタンを押して液晶表示部の「試運転」消灯を確認してください。
　（このリモコンは連続試運転を防止するために、６０分タイマー試運転解除機能付となっています。）

５　インバーター室外ユニットの試運転は、圧縮機の運転を１０分以上行ってください。（欠相確認のため）

※ワイヤードリモコンの「試運転」は、カセット形の天井パネルを取り付けなくても運転可能です。
（"Ｐ０９"表示は出ません。）

５．自己診断機能表と処理方法

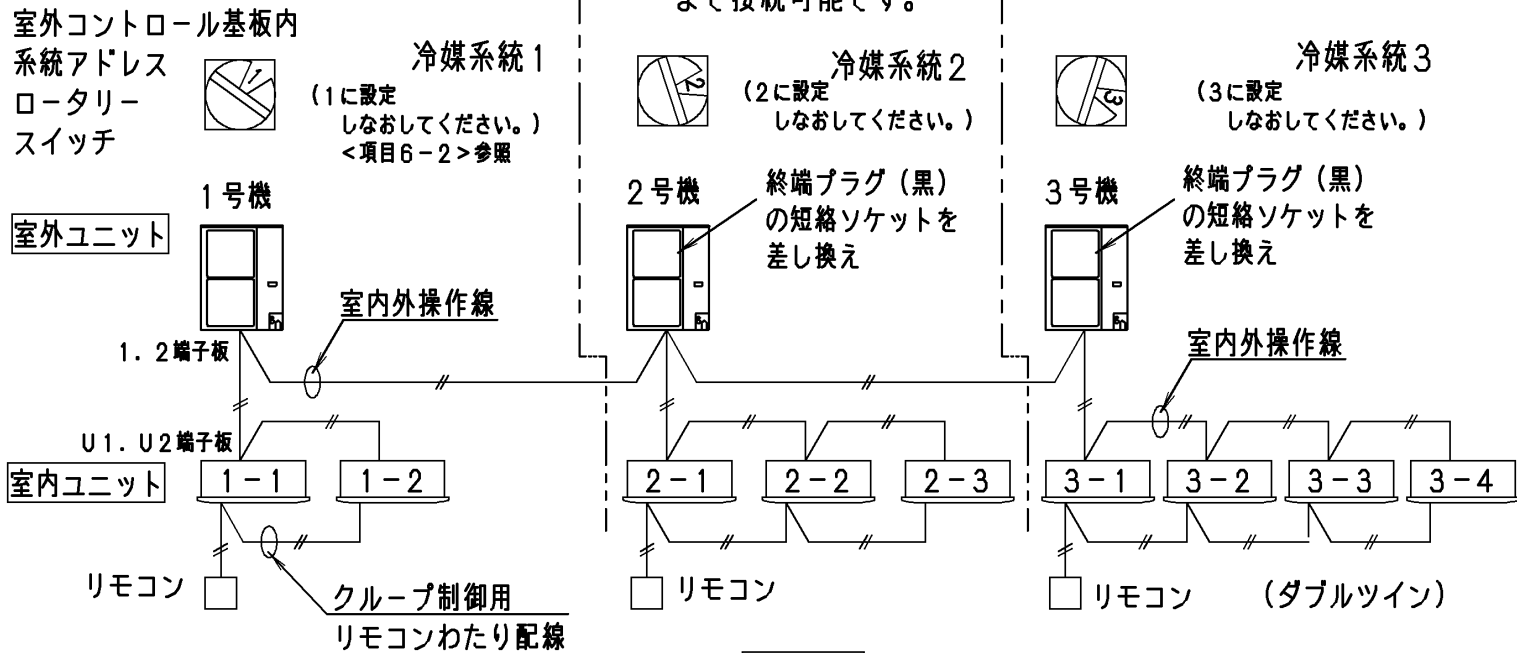
ワイヤードリモコン表示	ワイヤレスリモコン表示	原　　　因 グループ制御、同時運転マルチの場合	処置方法
全く表示されない	全く表示されない	● 室内ユニットにリモコンが正しく接続されていない。 ● 室内ユニットの電源が入っていない。	● 正しく接続してください。 ● 室内ユニットの電源を入れてください。
"Ｅ０１"表示	運転ランプ点滅	● 自動アドレスが終了していない。 ● 室内外操作線の断線・接続不良。 ● 室内ユニットにリモコンが正しく接続されていない。	● リモコンおよび室内外操作線の配線を確認してください。 ● 自動アドレスを行ってください。＜項目６＞
"Ｅ０２"表示		● 室内ユニットにリモコンが正しく接続されていない。	● 正しく接続してください。
"Ｅ１４"表示		● リモコンわたり配線の断線・接続不良。	● リモコンわたり配線を確認してください。 ● 再度自動アドレス設定を行ってください。
"Ｅ０４"表示	準備中ランプ点滅	● 室内外操作線の接続不良。	● 正しく接続してください。
"Ｅ０６"表示		● 室内外操作線の断線、接続不良。	● ＜項目６＞"基本配線図"を参照して正しく設定してください。
"Ｅ１５"表示		● 室内ユニット容量が少ない。	● 室内・室外ユニットの総合容量を適切な能力であることを確認してください。
"Ｅ１６"表示		● 室内ユニット容量が多い。	
"Ｐ０５"表示	運転ランプ・準備中ランプ交互点滅	● グループいずれかの室外ユニットの三相電源が、逆相または欠相。 ● ガス欠。	● 室外ユニットの三相電源の二相を入れ換えて正しく接続してください。
"Ｐ０９"表示	タイマーランプ・準備中ランプ交互点滅	● グループいずれかの室内ユニットの天井パネルのコネクタが正しく接続されてない。	● 室内ユニットの天井パネル、コネクタを正しく接続してください。
"Ｐ１２"表示		● グループいずれかの室内ユニットのＤＣ送風機異常。	● ファン押さえがはずしてあるか確認してください。 ● ＤＣ送風機と基板間の配線を確認してください。
"Ｌ０２" "Ｌ１３"表示	運転ランプ・準備中ランプ同時点滅	● 室内・室外ユニット機種の不一致。	● 室内・室外ユニットの機種が合っているか確認してください。
"Ｌ０７"表示		● 室内ユニットにリモコンわたり配線接続されているが、個別設定になっている。	● 自動アドレス設定を行ってください。＜項目６＞
"Ｌ１０"表示		● 別途室外メンテリモコンで室外の能力を確認してください。	

● 上記処置をしても正常に運転しない場合、または上記リモコン表示以外の表示がでる場合には、
別冊"サービス技術資料"を参照してください。

６．自動アドレスの設定方法

６－１ 基本配線図 ●リンク配線。

注意：室外コントロール基板に取り付けてある終端プラグ（黒）の短絡ソケットは１台だけ（有）を残して、他は差し換えてください。（有──►無に差し換え）

注意：グループ制御。１個のリモコンで、室内ユニット最多８台まで接続可能です。

室外ユニットから自動アドレスの設定方法

ケース１

●１冷媒系統毎に室内・室外ユニットの電源がＯＮにできる場合。
圧縮機を運転せずに室内ユニットアドレスの設定ができます。

１．１冷媒系統の室内・室外ユニットの電源を入れてください。電源をＯＮにした室外ユニットの自動アドレスボタン（黒）を１秒間以上押してください。

<項目６－２>参照

⬇

（自動アドレス設定の通信が始まります。）

⬇

（室外コントロール基板上のＬＥＤ１と２が交互点滅し、完了時は消灯します。）

<約４分から５分かかります。>

⬇

２．次に他の系統の室内・室外ユニットのみ電源をＯＮにして室外ユニットの自動アドレスボタン（黒）を押してください。

⬇

（室外コントロール基板上のＬＥＤ１と２が交互点滅し、完了時は消灯します。）

⬇

（同様の動作を繰り返して各系統毎の自動アドレス設定を完了させてください。）

⬇

３．リモコンからの運転が可能になります。

ケース２

●１冷媒系統毎に室内・室外ユニットの電源がＯＮにできない場合。
圧縮機を運転しないと室内ユニットアドレスの自動設定ができませんので冷媒配管工事を完了後に行ってください。

１．全系統の室内・室外ユニットの電源をＯＮにしてください。

⬇

冷房モードで行う場合

２．自動アドレス設定したい室外ユニットのモード切換ピン（冷房）を短絡して、自動アドレスボタン（黒）を押してください。

暖房モードで行う場合

２．自動アドレス設定したい室外ユニットの自動アドレスボタン（黒）を押してください。

⬇

３．ＬＥＤ１と２が交互点滅し、圧縮機が冷房（暖房）運転を開始し、室内ユニットの温度変化を利用した、自動アドレス設定の通信が始まります。

<全ての室内ユニットも運転状態になります。>

⬇

（圧縮機が停止し、ＬＥＤの表示が消灯するとアドレスの設定が完了します。<１系統に付き約１５分かかります。>
アドレス設定が失敗の場合は、ＬＥＤ１と２が同時点滅し、リモコンに警報内容が表示されます。）

⬇

４．必ず１系統が完了してから、他の室外ユニットの自動アドレスボタン（黒）を同様に押して、各系統毎の自動アドレス設定を完了させてください。

５．リモコンからの運転が可能になります。

リモコンから自動アドレスの設定方法

ケース3

● 1冷媒系統毎に室内・室外ユニットの電源がONにできる場合。
圧縮機を運転せずに室内ユニットアドレスの設定ができます。

系統別自動アドレス：項目コード"A1"表示。

1．リモコンの時間 ▲ ボタン＋ 点検 を同時に押します。（4秒以上）

2．次に設定温度 ▲ ／ ▼ ボタンどちらかを押してください。（項目コード"A1"を確認して下さい。）

3．自動アドレスしたい室外ユニットをユニット選択ボタンを選択し、E形の場合セットボタン、B形の場合セット/取消 ボタンを押します。

（系統1表示し、1冷媒系統の自動アドレス設定を行ないます。）
系統1の自動アドレスが終ると通常の停止に戻ります。 <約4分から5分かかります。>

（自動アドレス中は、リモコンに 設定中 と点滅表示し、完了時には消灯します。）

ケース4

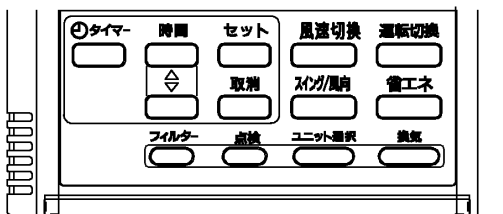
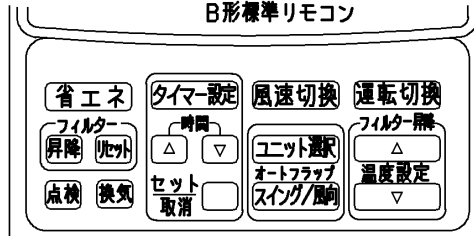
● 1冷媒系統毎に室内・室外ユニットの電源がONにできない場合。
圧縮機を運転しないと室内ユニットアドレスの自動設定ができませんので冷媒配管工事を完了してから行ってください。

全体自動アドレス：項目コード"AA"表示。

1．リモコンの時間 ▲ ボタン＋ 点検 を同時に押します。（4秒以上）

2．次にE形の場合 セット ボタン、B形の場合 セット/取消 ボタンを押します。

（室外ユニットを1号機から30号機まで自動で順次自動アドレスを行ない、終了したら通常の停止状態に戻ります。）
<1系統につき約15分かかります。>

（自動アドレス中は、リモコンに 設定中 と点滅表示し、完了時には消灯します。）

6－2 室外ユニット系統アドレスの設定方法

エコミニぐっぴー専用リモコン

基本配線図の場合（系統アドレス1、2、3・・・と設定してください。）

室外コントロール基板

（エスパシオ）
80～160形

無　有
（出荷時）

（スーパーエスパシオⅡ）
50～80形

系統アドレス番号	系統アドレス　10の位（2Pディップスイッチ）10位20位	系統アドレス　1の位（ロータリースイッチ）
0　　自動アドレス（出荷時設定"0"）	両方共OFF	設定0
1（室外ユニットが1号機の場合）	両方共OFF	設定1
2（室外ユニットが2号機の場合） ：	両方共OFF ：	設定2 ：
11（室外ユニットが11号機の場合） ：	10位が ON	設定1 ：
21（室外ユニットが21号機の場合） ：	20位が ON	設定1 ：
30（室外ユニットが30号機の場合）	10位と20位が ON	設定0

6－3　室内ユニットのアドレス確認

リモコンで室内ユニットのアドレスを確認してください。 点検 ボタン＋ 換気 ボタンを4秒以上押し（簡単設定モード、リモコンにALL表示） ユニット選択 ボタンで室内アドレスを指定します。
（系統アドレスが1号機の場合、ボタンを押すごとに1－1、1－2・・1－1・・と変更します。）
選択された室内ユニットのみ、室内ファンが運転しますので、確認し、室内ユニットのアドレス確認をしてください。（系統アドレスが2号機の場合は2－1、2－2・・・と表示されます。）

再度、点検 ボタンを押すと通常のリモコンモードに戻ります。
詳細については、別冊ハンドブック等を参照してください。

6－4　室内・室外ユニットの組み合わせ番号を表示（記入）のお願い

自動アドレス完了後表示（記入）してください。

1．複数台設置される場合、個々の室内・室外ユニットの組み合わせが確認しやすいよう、油性マジック等の消えにくいもので、室内・室外ユニットの対応番号を室外コントロール基板の系統アドレス番号と対応させ室内ユニットの確認しやすい場所（室内ユニットのネームプレート近傍）に表示してください。
（例）　（室外）1－（室内）1、2・・・　　（室外）2－（室内）1、2・・・
2．メンテナンス時に必要となります。必ず表示するようにしてください。

現地改造方法

1．エコミニぐっぴー定速機１４０，１６０形のツイン接続時におけるジャンパー線カット
以下の組み合わせで設置する場合は、手順に従い室外ユニットの制御基板のジャンパー線をカットしてください。

室内ユニット	室外ユニット
８０形×２台	１４０形
１１２形×２台	１６０形

１）室外ユニットの制御基板のジャンパー線ＪＰ１を図のようにカットしてください。
２）電源を投入します。
３）最初の電源投入時のみ、リモコンに設定中の表示がでます。（約４～５分自動アドレス設定を行います）
４）設定表示が消え、自動アドレスが終了すれば正常に運転を行えます。
５）ジャンパー線ＪＰ１をカットせずに自動アドレスを開始すると、リモコンに警報「Ｅ１６」が表示され
自動アドレスが中断されます。電源をオフにしてジャンパー線をカットしてください。

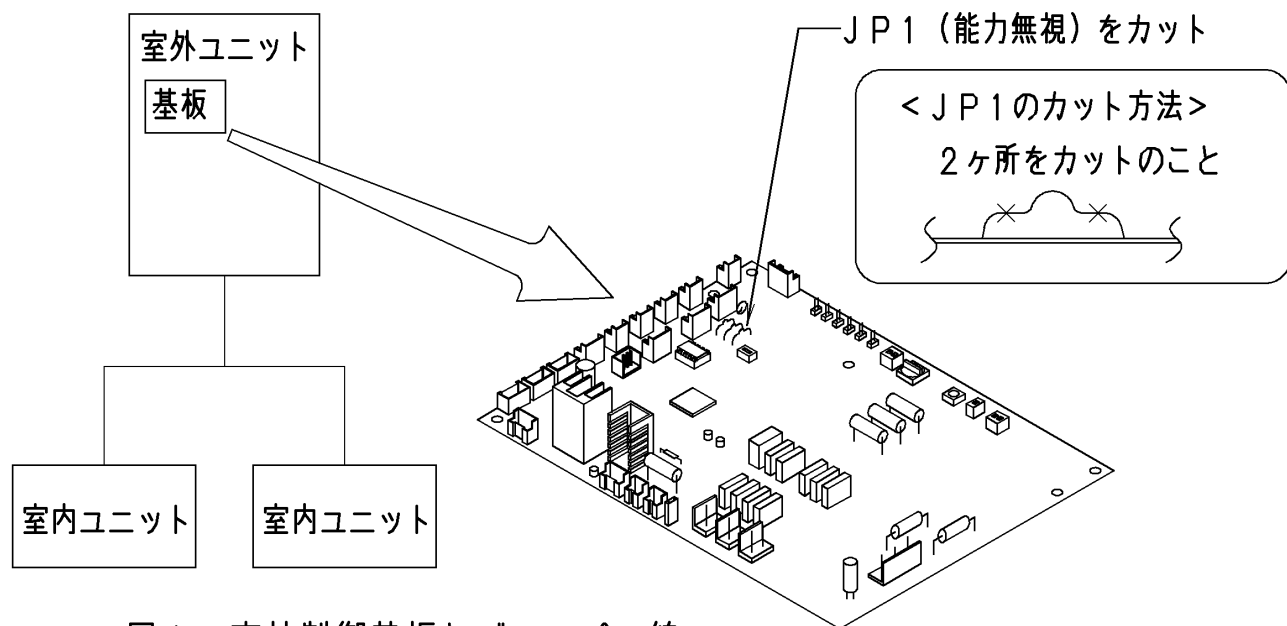



図１：室外制御基板とジャンパー線

2．エアコンの風量設定（エコミニぐっぴー定速機）
以下の組み合わせで設置する場合は、手順に従いリモコンから室内ユニットのファン回転数設定を行ってください。
この設定をしないで接続すると、冷房では消費電力が定格より上昇し、暖房では吹出温度が低下します。

室内ユニット	室外ユニット
１１２形×２台	１６０形

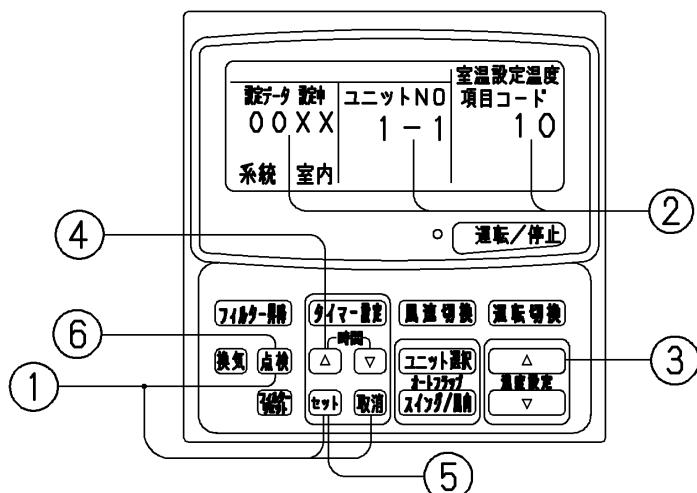



図２：エコミニぐっぴー専用リモコン

１）「詳細設定モード」に入ります。
① 点検 ＋ セット ＋ 取消 ボタンを、
４秒以上同時に押します。
リモコン表示部に設定中と設定データ００ＸＸ、
ユニットＮｏ．Ｘ－Ｘ（親機）を選択します、
項目コード１０が点滅表示されます。
※詳細モードに入った時に、はじめに表示される
ユニットＮｏ．は親機アドレスになります。
２）設定する項目を選択します。
③ 温度設定 ▲ ボタンで、項目コードを
《７７》に変更します。

3）設定するデータに変更します。

④ タイマー時間 [▲] ボタンで、設定データを《０》から《１》に変更します。

4）変更した設定データを確認します。

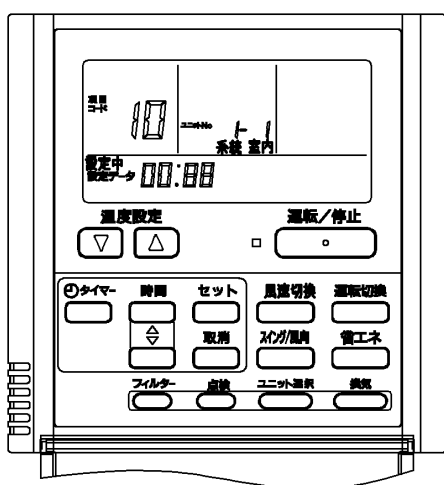
⑤ [セット] ボタンを押し、表示が点滅から点灯になればＯＫです。これで室内ユニット親機の設定は終了です。

5）室内ユニット子機の設定をします。

② [ユニット選択] ボタンを押して、ユニットＮｏ．ＸＸ－ＸＸ（子機）を選択します。

前記の　２）～４）までの設定変更を行います。

6）「詳細設定モード」を終了します。

⑥ [点検] ボタンを押します。これで通常の停止状態になります。

Ｅ形標準リモコン

1）「詳細設定モード」に入ります。

① [点検] ＋ [取消] ＋ [セット] ボタンを、４秒以上同時押します。

リモコン表示部に設定中と設定データ００ＸＸ、ユニットＮｏ．Ｘ－Ｘ（親機）を選択します、項目コード１０が点滅表示されます。
※詳細モードに入った時に、はじめに表示されるユニットＮｏ．は親機アドレスになります。

2）設定する項目を選択します。

③ 温度設定 [▲] ボタンで、項目コードを《７７》に変更します。

3）設定するデータに変更します。

④ 時間 [▲] ボタンで、設定データを《０》から《１》に変更します。

4）変更した設定データを確認します。

⑤ [セット] ボタンを押し、表示が点滅から点灯になればＯＫです。これで室内ユニット親機の設定は終了です。

5）室内ユニット子機の設定をします。

② [ユニット選択] ボタンを押して、ユニットＮｏ．ＸＸ－ＸＸ（子機）を選択します。

前記の　２）～４）までの設定変更を行います。

6）「詳細設定モード」を終了します。

⑥ [点検] ボタンを押します。これで通常の停止状態になります。

85464359777003